

いそどろ人物ファイル Vol.2

自分の経験を 人のために役立てたい

かとう としゆき
加藤 俊行 さん



彩の利用者さんに人気のクラフト教室「天然石のアクセサリー作り」。その講師を務めるのが、ボランティアの加藤さんです。実はご自身も大病を患った経験があり、リハビリの一環としてアクセサリーの制作を始めたそうですが、今では講師を務めるほどの腕前に。今回のいそどろ人物ファイルでは、加藤さんに彩との出会いや、ここでの活動についてお話いただきます。

将来、寝たきりになるかもしれない。

4年前に頸椎後縦靭帯骨化症による神経障害の症状が現れ、駅で突然倒れて救急搬送されました。最初に入院した病院で、娘は医師から「将来、寝たきり。良くて車椅子の生活になるかもしれない」と告げられたそうです。幸いにもその後、寝たきりになることは免れましたが、四肢麻痺が残り、リハビリを行うために八千代病院の回復期リハビリ病棟に転院してきました。

僕は若いころ柔道をしていて、身体能力には自信があったんです。だから、寝たきりや車椅子の生活というのは、自分とは無縁なものだと思っていました。そんな僕が八千代病院でリハビリ開始時に測定した握力は、なんと“2kg”。自分自身で車椅子の操作さえ十分にできない状態から、リハビリをスタートすることになりました。





赤ん坊の状態からもう一度、
身体能力を獲得し直して
いくような感覚でした。

ゼロからのリハビリスタート。

前の病院では「一生、車椅子の生活になるかもしれない」と言われましたが、僕は諦めたくなかった。会社にも復帰するつもりでいました。だから、「杖をつけて歩行すること」を目標に、リハビリに取り組みました。

とはいえ、手足の感覚がほとんどなかったので、リハビリは試練の連続です。自身としては、赤ん坊の状態からもう一度、身体能力を獲得し直していくような感覚でした。

身体に明らかな変化を感じたのは、作業療法で「ペグボード(右参照)」使ってトレーニングをしていた時。最初はペグをつかむのも難しかったのですが、ある時ペグをつまみ上げようとしたら、「あっ、脳と手指の神経がつながっている」という感覚がふと呼び起こされた。リハビリを開始して初めて「これを続けていけば、少しずつ良くなる」と、実感が持てた瞬間でした。それからは、眠っていた感覚を一つずつ呼び起こしていくように、身体機能を回復していきました。

入院中、回復期リハビリ病棟では1日3時間とリハビリの時間が決まっていましたが、時間外にもリハビリセンターに行っては、自主トレに励みました。そうした中で八千代病院の理学療法士、作業療法士の皆さんが、細かい部分にまで目を配り、熱心に指導してくださって、本当にありがたかったです。中には柔道経験者のスタッフもいて、「こういう時は、寝技を返すように体重移動すると起き上がりやすいですよ」と、柔道の技になぞらえてアドバイスをくださったりね。

当初「かなり厳しい」と言われていましたが、おかげで目標通り、杖をつきながら自分の足で歩いて退院できるまでに回復しました。



ペグボード

ペグとは木釘のことで、麻痺した手指の機能回復に利用されるリハビリツールのひとつ。指先のつまみ動作や握ったものを手放す機能の回復などに使われています。



身体が動くと、心が動く。

自ら経験したからこそ分かち合える、小さくて大きな変化。

アクセサリー作りを始めたのは退院後しばらくしてから。たまたま知り合いで天然石をアクセサリーに加工して販売している方がいて、作り方を教わったのがきっかけです。ペグと同じで手指を細かく動かす作業なので、これはリハビリになるんじゃないかと思いました。最初は手先がおぼつかなかったんですが、元来、凝り性なもので、一旦やりだしたらとことんやらないと気が済まない。試行錯誤して作り続けているうちに、微妙な手の動きや力加減ができるようになってきました。

こうして、アクセサリー作りができるようになったのも、支えてくださった皆さんのおかげ、だから何か恩返しをしたいなと思って、ある時、八千代病院でお世話になった理学療法士の小久保さんに相談したんです。そうしたら、彩で利用者の方に教えてもらえませんかと声をかけていただいて、今年の5月から週2回、ここで天然石やビーズを使ったアクセサリー作りをすることになりました。



講師だなんて大げさなものじゃないんですよ。皆さんのちょっと先輩として自身の経験を話したりしながら、一緒に楽しんでいます。アクセサリーを作るのには、デザインを考えて石を選ぶ、つまんで並べる、穴に糸を通す、結ぶという工程があって、頭も手指の力も結構使いますよ。

彩には僕と同じように手の自由が利かない方も多くいらっしゃいますが、作業に夢中になると、もどかしくて動

かない手も使いたくなってしまいます。すると自然と動かなかったはずの手が反応することがあるんです。そばにいと、身体が自然と動くだけでなく、その瞬間に心も動いているのが、ありありと伝わってきます。自分が経験してきたからこそ、そうした変化に気付け、共に喜び合える。こんな素敵なことはありません。

僕自身もここでパワーをもらっているんですよ。これからも皆さんと一緒に成長していけたらと思っています。

八千代リハビリデイサービス



社会医療法人 財団新和会
Social Medical Corporation, The Foundation Shinwakai

イロイロつながる。

彩ボランティア募集の お知らせ

彩はリハビリを行う場というだけでなく、地域に開かれた施設として、利用者の皆さんと地域の皆さんとが交流できる場でありたいと考えています。

現在も、お料理教室やクラフト教室の講師、畑仕事のお手伝いなど、さまざまな形で地域の方々に活動に参加していただいています。

彩でのボランティアに興味がある方は、ぜひスタッフまでお問い合わせください。

●対象地域 *送迎可能エリア

◆安城市

里町、橋目町、尾崎町、宇頭茶屋町、浜屋町、東栄町、今本町、北山崎町、西別所町、東別所町、別郷町、高木町、山崎町、大岡町、東新町、新明町、法連町、浜富町、小堤町、相生町、末広町、花ノ木町、桜町、大山町、城南町、百石町、横山町、箕輪町、二本木町、二本木新町、緑町、三河安城町、三河安城東町、三河安城南町、三河安城本町、新田町、明治本町、昭和町、弁天町、大東町、池浦町、今池町、住吉町、篠目町、井杭山町、美園町

◆知立市

八橋町、来迎寺町、牛田、南陽、新池、山町、牛田町、昭和、八ツ田町、谷田町、谷田町西、谷田町本林、新林町、山屋敷町、中山町、中町、弘栄、内幸町、東栄、広見、弘法町

◆刈谷市

板倉町、末広町、野田町、松栄町、東刈谷町、沖野町、南沖野町、場割町

◆豊田市

広美町、和会町、若林東町、吉原町、中根町、花園町、駒場町、生駒町

●リハビリ実施日時

月～金曜日(年末年始、一部祝日を除く)

- ① 1日コース / 9:50 ~ 15:00
- ② 半日コース(午前) / 8:40 ~ 11:50
- ③ 半日コース(午後) / 13:10 ~ 16:20

八千代リハビリデイサービスお問い合わせ先
TEL.0566-78-1616(直通)

住所 〒446-0073 安城市篠目町 4-4-3

ホームページ: www.yachiyo-hosp.or.jp